

科目名		授業形態	担当教員名	
放射線安全管理学Ⅱ		講義	野沢井 隆	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
放射線安全管理学は社会の一般認識として危険なものの一つとして挙げられる放射線や放射性物質を安全に取り扱うための学問である。 放射線診療に従事する際に不可欠となる放射線の安全管理についてその理念と方策を知り，具体的手法としての各種放射線防護技術について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 放射線防護に用いる諸量の単位・概念を説明できる。 5. 放射性廃棄物の処理法を説明できる。 2. 国際的に標準化された放射線防護体系を説明できる。 6. 放射線事故時の対応を説明できる。 3. 外部・内部放射線被ばくの防護方策を説明できる。 7. 医療被ばくの特異性と防護方策を説明できる。 4. 線源管理・環境管理・個人管理の方法を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	装置の届出・エックス線診療室・在宅医療、遮蔽の基準			
2	放射線の量、汚染の状況および放射線量の測定			
3	実効線量・等価線量			
4	個人被ばくの測定			
5	健康診断			
6	放射性廃棄物の処理			
7	放射性同位元素の取り扱い・汚染拡大防止			
8	除染作業			
9	内部被ばく			
10	表面汚染			
11	遮蔽・被ばく・減衰の計算			
12	緊急被ばく医療			
13	ICPR2007年勧告・診断参考レベル（DRLs）			
14	医療被ばくの軽減			
15	自然および人口放射線の被ばく			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	定期試験により成績を評価する。		
レポート・課題				
小テスト	20%	授業の進捗状況により2回の小テストを実施し、その平均により成績を評価する。		
平常点				
その他				
自由記載	授業の理解度によっては、シラバスの内容を変更する可能性あり。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
診療放射線技師 スリム・ベーシック 放射線安全管理学		福士政広	オーム社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				